

路地百選推薦書

推薦者氏名：木村晃郁

推薦する路地（のまち）の名称	竹原の路地
所在地	広島県竹原市

【推薦する理由（路地のよいところ）】

安芸の小京都と呼ばれる竹原。江戸時代に塩田開発で栄えた街並みが、そのまま保存されている。伝統的建造物群保存地区の中心を走る道路は広いが、そこから派生する道路はいずれも細く、伝統的建築物とともに風情ある空間を形成している。
写真は 1993 年撮影。

【写真添付】



路地	面積	約 5 h a	路地の延長	約 m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	<p>平安時代に京都下賀茂神社の荘園、鎌倉時代に地頭小早川氏の支配下にあった。江戸時代に広島藩が塩田開発に乗り出し、廻船業や酒造業とともに、製塩業を基盤に栄え、その経済力で現在の町並みがつくられていった。同時に文化面でも発展し、頼山陽で知られる頼家などの文人を輩出した。この時都市が形成されたのが本川の東岸である。</p> <p>明治以後、都市化に伴い塩田は市街地に変えられていったが、この塩田を市街地にすることで近代化圧力を吸収でき、江戸時代中期の街区が保存された。</p> <p>参考ホームページ http://www.arch-hiroshima.net/a-map/hiroshima/takehara.html http://www.city.takehara.hiroshima.jp/kankou/bunkazai/denken.jsp</p>		